

新型コロナウイルス感染防止対策マニュアル

オーエンス泉岳自然ふれあい館

1. 本マニュアル策定の趣旨

泉岳自然ふれあい館では、利用者の健康・安全の観点から、新型コロナウイルス感染防止マニュアルを作成し、本マニュアルに沿った対策を実施しています。利用者の皆様にも、当館利用の際には本マニュアルを踏まえ、感染防止対策を講じた上での利用をお願いしております。

特に、学校を含む団体利用につきましては、本マニュアルを基に、当館との事前打合せを綿密に行い、安全・安心な活動ができますよう、ご協力をお願いします。

なお、感染症の発生状況等によっては、随時本マニュアルも見直しをしながら対応策の変更を行ってまいります。

2. 事前準備について

<利用前に行っていただくこと>

(1)利用前の健康状態の確認	<一般団体および主催事業参加希望者> 体調チェックシート(様式はホームページよりダウンロード可能)に記入し,当日提出してください
(2)感染予防にかかる協力事項の確認	<学校団体> 学校で定めている健康観察を行ってください。その上で,同意事項確認のため,体調チェックシートを記入し,当日提出してください

次のような症状がある場合にはふれあい館の利用はできません

- ①発熱等の風邪症状がある場合
- ②息苦しさ(呼吸困難),強いだるさ,腹痛,吐き気,軽度でも咳,咽頭痛が続いている場合
- ③味覚・嗅覚異常の症状がある場合
- ④その他体調が優れない場合

<感染予防のための準備物>

団体の準備物	<input type="checkbox"/> 手指消毒用アルコール ※施設・設備用消毒アルコールはふれあい館で準備 <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> 各部屋で出たごみをまとめて捨てるためのごみ箱用ビニール袋 ※利用部屋数分 <input type="checkbox"/> 宿泊室扉等消毒用台ふきん <input type="checkbox"/> 野外炊飯を行う場合は、調理器具等を拭くためのペーパータオル
個人の準備物	<input type="checkbox"/> マスク (活動内容や宿泊日数に応じた必要枚数) <input type="checkbox"/> うがい用のコップや手洗い後のハンカチ, ティッシュ <input type="checkbox"/> 着替えなどを入れるビニール袋

※その他,団体独自に感染予防に必要と考えるものがあればご準備ください。

3. 主な館内生活での感染予防策について

<全体共通>

ふれあい館が行う 予防策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宿泊室において、一室あたりの宿泊人数を少なく抑え、1室4名～定員未満を基準とする。宿泊者数が多い場合は、全室を使う等の工夫を行う。(通常の定員:8名) ○ 利用者の健康状態の把握(朝食前に必ず検温するよう要請する) ○ 当館職員のマスク着用での対応 ○ 職員の感染リスクの考慮・自己防衛策の実施 ○ ソーシャルディスタンスの確保 ○ 施設内の公共の場の換気・消毒 ○ 各活動前後の手洗いの励行 ○ 放送マイク用消毒アルコールの貸し出し ○ 時間に余裕を持った活動プログラムの検討要請
-------------------------	---

利用者が行う予防策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宿泊室を最大限利用し、各室を少人数で利用できるよう部屋割りの工夫 ○ 就寝時お互いの寝具の間隔を広く空ける ○ 館内での活動は原則としてすべてマスク着用。ただし、熱中症等の健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合にはマスクを外す ○ 消毒用アルコールによる手指消毒,咳エチケットの指導の徹底 ○ 事前に利用者全員の体調チェックを行い異常の無いことを確認し,同意書を熟読し同意の上,「体調チェックシート」の提出をする ○ 朝の活動開始前には必ず体温の測定,健康観察の実施 ○ 定期的に健康観察を行い,体調の変化を速やかに把握。発熱や体調不良の症状が見られた場合は迅速に当館職員に連絡 ○ 館内および宿泊室等の定期的な換気,消毒を行う ○ 放送マイク使用後はアルコール消毒を行う
------------------	---

<主な館内生活ごと>

主な館内活動	ふれあい館が行う予防策	利用者が行う予防策
入館時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者が玄関ホール等で密にならないよう誘導する ・ 宿泊室のドア等触れる部分を中心に清拭消毒を行う ・ 利用団体が多い場合,荷物置場が密にならないように設定する ・ 受付等対面する場所ではアクリル板等を設置する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の健康状態を確認する ・ 上靴をはいてから手洗いやアルコールによる手指消毒を実施する ・ シーツ,枕カバーの受け取りは引率者が代表で受け取る ・ 可能であれば,割り当てられた宿泊室の中から救護室(保健室)を設置する

主な館内活動	ふれあい館が行う予防策	利用者が行う予防策
つどい (であい・朝・わかれ)	<ul style="list-style-type: none"> ・原則としてつどいは行わない ・であいやわかれのつどいを実施する場合は単独で挨拶程度の内容で行う ・1.5mの間隔で整列した場合、体育館で150名、多目的ホールで80名、研修室机椅子利用で60名が利用可能 ・可能な限り、職員によるベッドメイク、施設の使い方等の説明は省略する →Web上の本館動画で事前指導の動画が閲覧可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝のつどい等は団体独自で行うのは可能。その場合、利用団体同士で話し合い、活動する場所を調整する(つどいの広場、体育館、多目的ホール等) ・オリエンテーションはできる限り事前指導で行う
大食堂での食事 (朝・昼・夕)	<ul style="list-style-type: none"> ・順番待ちの間隔を引率者に指導する ・同一方向で座る等座席の配置について提案する →1回の人数を定員の半数以下(150人程度)に制限し、間隔を空けて使用してもらう ・バイキングは実施せず、おかずは個々に皿盛りで提供する ・利用人数が多い場合、食事を2回に分け、入れ替えて設定する →状況に応じて食事開始や終了時刻の変更等で柔軟に対応する ・一日の最後の利用後に清掃と消毒を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず食堂に入る前に手洗いをしっかりと行う ・食事中以外はマスクを着用する ・順番待ちの間隔に留意する ・テーブルごとに係の子がご飯と汁物を配膳する ・同一方向で座る等、座席の割当に留意する →1回の人数が150名を超える場合等は2回に分け、入れ替えて食事をする ・下膳はテーブルごとにまとめず、個人ごとに各自の食器を返却する ・下膳は時間差をつけ、間隔を取る。残食返却と食器返却を分けて整列し混雑を避ける ・食事後はふれあい館で準備した消毒用アルコールとペーパータオルでテーブルの消毒を行う
洗面所・トイレの使用	<ul style="list-style-type: none"> ・洗面所やトイレを定期的に消毒、換気する ※換気扇は常時運転 ・トイレの蓋を閉めて水を流すよう各個室に表示する ・感染予防の観点から、洗面所の共用コップは撤去する 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人が持参したコップを使用する ・トイレの蓋を閉めて水を流すようにする ・手洗いを徹底する
入浴	<ul style="list-style-type: none"> ・脱衣所、浴室での周囲の人との間隔の確保を求める ・拭き取り消毒用アルコールを準備する ・浴室の入れ替え時に脱衣所、ドアノブ等の消毒を各団体に求める ・できる限り全体の入浴時間を長めに確保することで、時間的にも人数的にも余裕を持つことで密を避け、感染予防に努めてもらう →状況に応じて入浴時間の延長等柔軟に対応する 	<ul style="list-style-type: none"> ・1回あたりの入浴人数は定員の半数以下(25人程度)を目安にする ・浴室、特に脱衣所での会話をできるだけ控える ・着替えた服は各自持参した袋に入れ、棚に直接タオルや衣服を置かない ・団体の入れ替え時に、ふれあい館で準備した消毒用アルコールで浴室のドアノブ等の消毒を行う

主な館内活動	ふれあい館が行う予防策	利用者が行う予防策
宿泊室での過ごし方	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊室使用前,使用後の消毒を徹底する ・部屋の換気を継続的に行う ・室温が 25℃,又は湿度が65%以上になったら廊下の冷房を稼働する(宿泊室に冷房設備はありません) ・人数調整が可能な場合は柔軟に対応する 	<ul style="list-style-type: none"> ・シーツ2枚と枕カバーを確実に使用する ・入室後,ベッドメイクまではふとんには触れないようにする ・使用しないふとん等には触れないようにする ・部屋の換気を常時行う ・部屋で出たごみは持参したビニール袋に入れ,密封して指定の場所に捨てる
活動責任者打合せ (17時)	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関ホールで行う ・できる限り短時間でを行うようにする ・距離を保てるような場の設定を行う ・感染予防対策について引率者全員への周知徹底を求める 	<ul style="list-style-type: none"> ・マスクを着用する ・事前の手洗いやアルコールによる手指消毒を徹底する
退館時	<ul style="list-style-type: none"> ・特に多くの利用者が触れる活動場所の消毒を徹底する ・利用者退館時,玄関や玄関ホール等が密にならないよう誘導する 	<ul style="list-style-type: none"> ・シーツ,枕カバーは各階に設置した回収袋に,使用した各個人が返却する
料金支払い	<ul style="list-style-type: none"> ・距離を保てるような場の設定を行う ・おつりの授受が発生しないように支払料金の準備を求める ・事務室カウンターに消毒用アルコールを設置する ・事務室カウンターにアクリル板等を設置する 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルコールによる手指消毒を行う ・マスクを着用する ・可能な限りおつりの授受が発生しないように支払料金を準備する ・可能な限り口座振り込みで支払う

4. 各活動プログラムにおける感染予防策について

活動プログラム	ふれあい館の予防策	利用団体の予防策
登山・ハイキング	<ul style="list-style-type: none"> ・間隔の目安として互いに手を伸ばして手がぶつからない距離等,具体的な例示をする ・登山支援ボランティアへ説明し,リスクや予防策への同意を得る ・泉ヶ岳スキー場にリフト利用時の感染症対策を確認する ・密にならない余裕ある活動計画の提案 ・消毒石鹸の用意 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じてマスクを着用する(休憩時,会話時等) ・活動前に体調を確認する ・歩行時の間隔を確保し,対面での会話を控える ・休憩時・昼食時は一定の間隔を確保する ・食べ物の受け渡しはしない(回し飲み,回し食いの禁止) ・排泄後や昼食時等のアルコールによる手指消毒を徹底する ・活動時は手袋(軍手)を装着する ・活動中の発熱等体調不良時の対応について事前に共有しておく ・使用後の肌着や汗拭きタオル等はビニール袋に入れるなどして適切に管理する

活動プログラム	ふれあい館の予防策	利用団体の予防策
<p>沢のぼり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・密にならない余裕ある活動計画の提案 ・消毒石鹸の用意 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じてマスクを着用する(休憩時,会話時等) ・活動前に体調を確認する ・歩行時の間隔の確保 ・休憩時は周りとの間隔を確保し,対面での会話を控える ・活動前後の手指消毒 ・活動中の発熱等体調不良時の対応について事前に共有しておく
<p>オリエンテーリング系 ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォークラリー ・スコアオリエンテーリング ・ポイントオリエンテーリング ・フォトハンター 	<ul style="list-style-type: none"> ・引率者への事前説明やミーティング等は適度な距離を確保し,声を抑えて行う ・密にならない余裕ある活動計画の提案 ・消毒石鹸の用意 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じてマスクを着用する(事前指導時,会話時等) ・活動前に体調を確認する ・歩行時の間隔の確保 ・休憩時等周りとの間隔の確保と対面での会話を控える ・屋内での事前指導等は密を避けるために間隔を確保する ・体が接触する動きは避ける ・活動前後の手指消毒
<p>やってみっぺっちやー 館内 やってみっぺっちやー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・密や接触を避けるために種目に応じて人数を制限する ・複数団体が同時に活動を行わないよう事前に打ち合わせを行う ・消毒石鹸の用意 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じてマスクを着用する(事前指導時,会話時等) ・密を避けるため,指定された間隔を確保する ・複数団体が同時に活動を行わないよう事前に打ち合わせを行う ・体が接近・接触する活動は避ける ・活動前後の手指消毒
<p>野外炊事 焼き板</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・密集を避けるため,必要に応じて一団体でも野外炊事場のA棟・B棟の両棟を割り当てる ・職員が説明する際は,マスク着用の上拡声器を使用し,短時間で終える工夫をする ・貸し出し用の食器とスプーンは班ごとにビニール袋に入れて貸し出す ・食事後の食器洗浄における感染リスク減のため,使い捨ての食器,スプーンの持参も可能とする ・ジュースは人数分を一括梱包で配布し,接触人数の減少に努める ・野外炊事場の密を避けるため,十分な間隔を確保する ・活動で使用した調理場やテーブル等の清掃・消毒を行う ・調理器具は毎回アルコール消毒を行う ・消毒石鹸の用意 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動前後と食事前の手洗いを徹底する ・食事以外の場面でのマスク・手袋(軍手等)を着用する →加熱調理するものを扱うときは手袋不要 ・活動時における周囲の人との間隔を確保する ・個人で使う手拭きや布巾は個人で準備する ・調理器具や配膳で使う器具を拭く際は,ペーパータオルを使い,拭く係を固定する ・かまどは一つおきに使う ・米とぎの洗い場は分散する ・調理は隣のグループとの間隔を確保する。流しでは,対面にならないようにする ・食事会場を分散させ,席は間隔を空けて座る ・調理前後,調理器具は必ず洗剤で洗う ・持参した使い捨ての食器・スプーンは袋に入れて利用者が持ち帰る ・洗い場は分散し密を避ける ・ごみは袋に入れ,口をしっかりと閉じて所定のゴミ用ポリバケツに入れる

活動プログラム	ふれあい館の予防策	利用団体の予防策
テント設営・撤収 テント泊	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の説明は最小限とし、利用団体に事前指導の徹底を求める。 ・テントは密にならないよう 2,3 名で利用する。(通常定員:5 名) ・シュラフは利用ごとにクリーニングを行う ・消毒石鹸の用意 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じてマスクを着用する ・活動時における周囲の人との間隔を確保する ・テント内を常時換気する ・テント1張あたりの人数が密にならないようにする ・シュラフの共用はしない ・活動前後の手指消毒
キャンプファイヤー ボンファイヤー キャンドルファイヤー	<ul style="list-style-type: none"> ・火の神等の衣装の貸し出しは行わない ・貸し出した物品の消毒を行う ・ワイヤレスマイク消毒用アルコールの準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じてマスクを着用する ・フォークダンス等で手をつなぐ等の接触は避ける ・他者との前後左右の間隔を確保する ・ワイヤレスマイクの使用時にはアルコール消毒を行う ・静かに火を見つめたり会話を楽しんだりする等活動内容の工夫をする
星を観る会 ナイトハイク	<ul style="list-style-type: none"> ・密を避けるため、間隔の確保を求める 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じてマスクを着用する ・活動時における周囲の人との間隔を確保する
クラフト	<ul style="list-style-type: none"> ・密を避けるため、間隔の確保を求める ・館内の換気を保つ ・人数に応じて活動場所を複数室利用できるようにし、密集を避ける ・複数団体が交差しない時間や場所の調整を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じてマスクを着用する ・密を避けるため、間隔を確保する ・常時、換気をする ・2 室に分けて活動する場合の道具等の準備・片付けをする ・活動前後の手指消毒
歩くスキー スノーシュー ハイキング スノーハイキング	<ul style="list-style-type: none"> ・密を避けるため、間隔の確保を求める ・職員の説明は最小限とし、利用団体に事前指導の実施を求める ・支援ボランティアへ説明し、リスクや予防策への同意を得る ・歩くスキーでの説明、指導内容を工夫して短時間でを行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション等館内では必要に応じてマスクを着用する ・活動前に体調を確認する ・活動前後のアルコールによる手指消毒を徹底する ・汗拭きタオルや肌着は袋に入れて持ち帰る

5. 感染が疑われる際の対応

<当館利用中>

- (1) 発熱等の風邪症状や軽度であっても咳・咽頭痛、倦怠感等の症状がある人は、当館に情報提供願います。
- (2) 利用者から感染が疑われる申し出があった際、同意を得た上で保健所に連絡し、その指示に従って対応します。
- (3) 発熱等の風邪症状や呼吸困難等感染の疑われる利用者がある場合には、待機用宿泊室を指定し、マスク着用の上で外出禁止とします。
- (4) 感染者が発生した場合には、食事をとった場所、宿泊室、利用したエリア等の行動記録の提出を求めます。
- (5) 保健所の指示に従って他の同時利用者への情報提供等の対応を行います。
- (6) 37.5 度以上の発熱があった場合は、使用した寝具(敷布団・掛け布団等)のクリーニング代を負担していただきますので、ご了承ください。

<退館後、感染等が明らかになった場合の利用者の対応>

- (1) 速やかに当館に連絡してください。